

タイトル	録音時間	録音場所	録音年月	値段	説明
子育ての秘訣	講演（63分35秒）	桑名	2015年11月	600円	「アドラー心理学保育の歌」を使って、アドラー心理学的な子育ての初歩の初歩をお話しています。
すこやかな子どもに育てる	全体（72分00秒）	豊田	2015年11月	700円	「アドラー心理学育児の歌」を使って、アドラー心理学的な子育ての初歩の初歩をお話しています。
勇気づけて育てる	前半（70分57秒） 後半（53分01秒）	高知	2015年5月	1200円	「アドラー心理学育児の歌」をもとにお話をしました。「どんなときでもプラスを見 学んでもらうことを決め よい学びかた考えて やさしくきっぱり育てましょう 手を出さないで学ぶのと 相談しながら学ぶのと どちらがよいか考えて 子どもの自立を助けましょう 成功したら喜んで 失敗したら相談し 目標立てて一歩ずつ 前に進んでいきましょう おおやけ心と常識と 世間をわたる算段を 身につけるよう勇気づけ 子どもも親も育ちましょう」
楽しい子育てをするために	講演（77分1秒） 質疑（71分56秒）	北九州	2014年11月	1500円	「アドラー保育の歌」を板書して、アドラー心理学の子育ての核心をコンパクトにまとめてお話しています。それだけでなくアドラー心理学をグループで学ぶ大切な、構えを変える大切さなど多くの示唆に富んでおり、文句なく日本中のお母さんと保育士さんに聞いていただきたい内容です。未来の世代のために「まず自分が変わる」勇気がわいてくることでしょう。
子どもをすこやかに育てる	全体（69分49秒）	福山	2014年10月	700円	『アドラー保育の歌』をもとにお話ししましたが、特に感情の制御についてくわしくお話しています。すなわち、「怒り／後悔／不安／喜び／満足／希望」のどれでもいいから先に選んで、後からその理由を考えるという面白い方法です。
21世紀の子育てと教育	講演（69分47秒） 質疑（76分50秒）	盛岡	2014年8月	1500円	アドラー心理学に初めて出会う人たちを想定した講演です。「み 未来を見通し ち 長所を伸ばし は 話し合いつつ で できることと き 協力しながら た 他のために」という板書をしてお話をしました。
幸福な人を育てる	講演（79分05秒） 質疑（68分25秒）	金沢	2014年6月	1500円	“子どもを育てる”ことは、人が一生でおこなう最も重要な仕事です。めまぐるしく変化する現代社会の中で、幸せに生きていける人に育つように、親や教師はさまざまな工夫をしなければなりません。アドラーの育児法は百年の実績があり、世界中で実践され、よい結果を得ています。当日の板書は次のようでした。「おおやけごころ（共同体感覚）と じょうしき（共通感覚）と 世間を渡る算段（リソース）を 感情交えず 楽しんで 勇気づけつつ 理解させ 協力的に 育てます」
公開カウンセリングと講演会	講演（26分8秒） 質疑（62分54秒）	大阪	2014年1月	900円	この頃の公開カウンセリングではいつも、その日のカウンセリングと関連する内容の講演を1時間ほど行っていました。この日のテーマは「思春期の発達」です。便宜的に思春期を4つに分け、前思春期（10歳から中2）に友人関係を築いておくことが健康な大人になるためにかに大切か、アドラー心理学にはじめて出会う人にもわかるよう平易な言葉でお話しています。さらに1時間ほどの質疑応答があります。子育て中の親への勇気づけにあふれたお話です。
未来に向かう子育て	質疑（81分20秒）	神奈川	2013年11月	800円	横浜における育児講演会「未来に向かう子育て」後の、質疑の部分をお届けします。大量の質問すべてに立て板に水の如く、当之无愧に、明快にユーモアたっぷりに答えていきます。『パセージ』の実践、特に感情の制御について、あるいは広汎性発達障害や差別などの社会問題について、質問は多岐にわたります。脂ののりきった野田のエキサイティングな質疑応答をお楽しみください。
勉強する子に育てる	講演（76分40秒） 質疑（56分41秒）	浜松	2013年6月	1300円	「おおやけ心と常識と世間をわたる算段を 覚えて見通し身につけて 目標たてて一歩ずつ 変化をつけて喜ぼう」とホワイトボードに「板書」し、これに沿って分かりやすくお話しています。「おおやけ心」とは共同体感覚、「常識」とは共通感覚、「世間をわたる算段」とは算数や国語などさまざまな力のことで す。 アドラー心理学の核心には、人間は社会全体に対して責任をもって生きていかねばならないという思想があります。そのため親や教師は賞罰を使わず子どもにこれを伝え、子どもの成長を手伝い喜び合い、次の世代のおおやけを担う人を育てることだと述べています。
保育講演会質疑	全体（97分37秒）	金沢	2013年6月	1000円	石川県の日本保育協会主催のもとで行われた3年連続の講演会のうち、第1回目の質疑応答をお届けします。この一連の講演そのものは、有志の方々の手で『アドラー心理学と子育て』（あうん堂本舗、2018年）として出版されました。この日は保育現場から大量の質問があり、勢いよくどんどん回答しています。アドラー心理学に基づく子育ての原理は保育所でも一般の家庭でも同じです。ケンカが起こったときの対処の仕方や、限界を設定する、選択肢を与える、などのお話は、おおいに参考になるでしょう。

勉強する子を育てる	前半（55分23秒） 後半（47分40秒）	大阪	2012年11月	1000円	子どもが勉強するように勇気づけるにはどうすればいいかというお話です。3つの問題があって、第1は、人間は不完全な存在であって、期待するほど賢くないということ、第2は、人間は元々は学ぶのが好きなのに、親や教師が間違っただけでそれをくじいてしまうこと、第3は、勉強する目的が不明確になってしまっていることです。これらのお話について、アドラー心理学の原理にもとづいて、どうすれば子どもを勇気づけることができるかを考えます。
勇気づけて簇ける	全体（68分12秒）	徳島	2012年10月	700円	育児学の発達で、かえって育児は崩壊してしまいました。これは、「すべきこと」と「してはいけないこと」をきちんと教えなくなったからです。アドラー心理学の育児は、「すべきこと」と「してはいけないこと」を、賞罰を使わずにきちんと教えます。そうすることで、世のため人のために役に立つ人に育ってもらおうとしています。
育児の目標 2012大阪	前半（52分26秒） 後半（46分07秒）	大阪	2012年9月	1000円	『パセージ』の最初に出てくる「子育ての行動面の目標」と「子育ての心理面の目標」をより深く掘り下げてお話ししています。いったい何に向かって子育てをすればいいのかについて、具体的にわかりやすく説明しています。
育児の目標 2012愛知	全体（72分21秒）	豊橋	2012年9月	700円	「世のため人のため役に立つ人間に育てる」という原則にもとづいて育児をし、「個性を伸ばす」だとか「型にはめない」ということに過度にこだわらない方がいいという話をしています。『パセージ』を受けたことのない、アドラー心理学に初めて出会う人を対象にお話ししています。
勇気づけ 2012大阪	前半（52分43秒） 後半（47分55秒）	大阪	2012年1月	1000円	勇気づけを、1）共通感覚を育てる、2）共同体感覚を育てる という二つの側面から話をしています。賞罰のない、1）話し合いと、2）貢献への感謝と、3）結末の体験 かなるアドラー心理学の育児の方法を、わかりやすくお話ししています。
幼い子の子育て	前半（51分11秒） 後半（49分39秒）	大阪	2011年7月	1000円	5歳までの子どもの育て方についてお話ししていますが、たくさん余談があって面白いです。
楽しい子育て	講演（47分50秒） 質疑（41分19秒）	大阪	2011年1月	900円	題名どおり、とても楽しい講演です。子どもを生み育てるのは、世界の未来のために最も大切な仕事です。一生のうちでおそらく、比べるものがないほどかけがえのない仕事だというのが野田の持論です。子育てに誇りをもって、子育てを楽しんでください。そのためにアドラー心理学では、効率的で無駄のない育児を提案しています。この講演では、子育ての秘訣、特に結末の体験について、ていねいにお話ししています。
0歳児の育児	全体（42分10秒）	大阪	2011年1月	600円	0歳児の育児の話です。「人々は仲間だ」を目標にして、「心と体を子供に向ける」「スキンシップ」「言語生活に参加してもらう」という3つの大切なことのお話をしています。
子育ての目標	全体（49分45秒）	大阪	2010年12月	600円	パセージの「行動面の目標」すなわち「自立する」と「社会と調和して暮らせる」に関して、野田個人の考えをいくつか述べます。
結末を体験する	前半（48分34秒） 後半（40分25秒）	大阪	2010年9月	900円	前半は自然の結末と社会的結末について、後半は『パセージ』では教えられていない論理的結末についてお話ししています。中級者向けの話です。
しつけ：子どもたちに伝えたいこと	前半（61分23秒） 後半（43分51秒） 添付資料 discipline.pdf	大阪	2010年7月	1000円	育児の目標について、横手で講演で使ったスライドを使いながら、あれこれお話ししています。最終的にどんな大人に育ってほしいかをちゃんと理解して、それに向かって日々のしつけを展開していく必要があります。しつけというのは、その場その場での問題解決を超えた「人づくり」でなければなりません。
協力とナラティブ	全体（54分04秒）	大阪	2010年3月	600円	協力関係と競合関係とを区別して、協力関係の中でのコミュニケーションに命令文・仮定文・閉じた疑問文・開いた疑問文の4つの話法（ナラティブ）があること、それをどう使い分けるかを考え、特に開いた疑問文を使った「問いかける育児」についてお話ししています。パセージが実践できた上で、それをより深めるためのコツについて説明しています。
勇気づけ：よい親子関係	前半（55分42秒） 後半（39分07秒）	大阪	2010年1月	1000円	入門的な話です。アドラー心理学の親子関係をわかりやすくお話ししています。何度もしている話ですが、新しい材料もあります。とくに「問いかけ」の話は、アドラー心理学のこの頃の進歩を反映しています。
年齢別の子育て	全体（52分44秒）	大阪	2009年8月	600円	乳幼児・未就学児・小学生・中学生くらいの段階に分けて、子育ての違いについてお話をしています。アドラー心理学の育児は、基本的にはどの年齢層に対しても同じ原則がおこないますが、それでも年齢によって違いがないことはなくて、そのあたりの細かい注意事項をお話ししています。
しつけと勇気づけ	前半（48分24秒） 後半（46分17秒） 添付資料 090517.pdf	大阪	2009年5月	900円	個人主義と集団主義という両極端の間の、ある位置にアドラー心理学の場所を決める、という話で、かなり難解かもしれませんが、きわめて斬新で含蓄の深い話だと思います。放任主義・権威主義・民主主義や、理性と道徳や、循環的対話と直線的対話など、アドラー心理学に関係するさまざまな概念が、個人主義と集団主義の対立というシンプルな原理で整理されています。

勇気づけの子育て	1本目（51分40秒） 2 本目（24分38秒）	高知	2009年4月	800円	一般向けの子育て講演会の記録です。前半では、子どもの目的がいつも「所属」だということを理解した上で、日常で起こりそうな4つの架空事例にどう対処すればよいかを考えていきます。ひとつめは賞賛あるいは注目関心を求める事例、ふたつめは権力争いの事例、みつめは共同の課題の作り方、よっつめは論理的結末について、『パセージ』の言葉をいっさい使わずに、とても平易な言葉で説明しています。後半はアドラー心理学の目指す育児について、わかりやすく概論をお話しします。
アドラー育児の初歩の初歩	前半（47分42秒） 後半（51分13秒）	大阪	2009年1月	1000円	アドラー心理学の育児の基礎の基礎を、1）育児の目標、2）勇気づけ、3）話し合い、の3つに分けてお話ししています。知っていることばかりかもしれませんが、整理になると思います。
アドラー心理学の育児	全体（48分19秒）	大阪	2009年1月	600円	アドラー心理学の育児の基礎の基礎を、1）育児の目標、2）勇気づけ、3）話し合い、の3つに分けてお話ししています。知っていることばかりかもしれませんが、整理になると思います。
価値と雰囲気	前半（49分58秒） 後半（39分43秒）	大阪	2008年12月	900円	家族の価値と家族の雰囲気 키워드를キーワードにして、アドラー心理学の育児の目標とその方法について、わかりやすくお話をしています。ものごとの取り決め方（雰囲気）には「権威主義的」「放任主義的」「民主主義的」があり、アドラー心理学は民主主義的育児をお勧めしています。さらにアドラー心理学は相互尊敬・相互信頼に基づいて協力することを善（価値）と考えます。すなわち「横の関係」あるいは「責任と貢献」という目標に向かって「民主主義的」育児をするわけですが、そのこまかいニュアンスについて丁寧に説明しています。
思春期の子どもとのつきあい方	前半（59分38秒） 後半（47分10秒） 添付資料 table.jpg	大阪	2008年5月	1000円	思春期の話はこれまでにたくさんしたので、ここでは趣向を変えて、スピリチュアルな方向から話をしています。「誓願」、すなわち「人々のために生きよう」ということをキーワードにして、子どもたちが「生きる意味」を感じて暮らしていけるように援助するにはどうすればいいかをお話ししています。
アドラー心理学にもとづく子育て	前半（57分49秒） 後半（46分09秒）	大阪	2008年1月	1000円	日本にアドラー心理学が伝わって25年になります。初心にかえって、アドラー心理学にもとづく育児の基礎の基礎を、劣等感と勇気づけ／社会性と協力／平等と責任という3組のキーワードを使って、わかりやすくお話ししています。
勇気づけの親子関係 2006東京	前半（52分13秒） 後半（53分26秒）	東京	2006年4月	1000円	東京アドラーギルドの最後の講演です。アドラー心理学にもとづく親子関係について、基礎からいねいにお話ししています。
勇気づけの親子関係 2006大阪	前半（51分18秒） 後半（46分56秒）	大阪	2006年3月	1000円	親子関係をカウンセリングがどう分析しどう援助するかを考えます。具体的な方法よりも、むしろ理念に関係する話をしています。
子どもと向き合う	前半（50分58秒） 後半（44分21秒）	横浜	2005年5月	1000円	社会と教育の荒廃の中で、「どんなことがあっても子どもの味方でいる」決心をし、子どもと話し合い、選択肢を提示して、子ども自身に選んでもらう育児を提唱しています。とても過激に教育批判をしながら、親たちが自覚するように呼びかけています。
話し合えない子ども	前半（56分50秒） 後半（47分55秒）	魚沼	2005年9月	1000円	新潟県魚沼市での講演です。「話し合えない子ども」は「話し合えない親」が作っている、という考えにもとづいて、どうすれば「話し合える親」になることができるかについてお話をしています。前半は「文化の伝達」としての育児について、後半はそれを具体的に実現する方法についてです。
子どもの能力を伸ばす 2005東京	前半（56分12秒） 後半（40分04秒）	東京	2005年4月	1000円	「能力」イコール「学力」と考えないでコーピング・アビリティ（対処能力）としてとらえなおし、デカルト・パラダイムがアウシュビッツとヒロシマで破綻し、このままでいくと人類も地球も滅びるという危機の時代に、なおたくましく生き残れる子どもを育てるにはどうすればいいかを考えます。後半は、めずらしく、「技術ではなくて愛」という主張をして、「親が願うような子どもを育てる技術」としてアドラー心理学をとらえる傾向に警告しています。
子どもの能力を伸ばす 2005大阪	前半（48分36秒） 後半（57分34秒）	大阪	2005年3月	1000円	「能力」といっても、学業のことではなくて、共同体感覚をどうすれば育成できるかという話です。きわめてラジカルに育児と教育について語っています。
親子が協力する	前半（50分31秒） 後半（42分16秒）	東京	2005年2月	900円	社会適応モデルではなくて個性育成モデルにもとづいて、「私の子どもだ」と思うのではなく「人類の子どもを預かっている」と思い、「全体が幸福であるために個人はなにをすればいいか」、「子どもが生きたいように生きていけるように援助する」というような発想で子育てすることを考えます。後半はやや雑談気味ですが、これもなかなかおもしろいです。

21世紀の子育て	前半（49分22秒） 後半（41分10秒）	高松	2004年11月	900円	初心者向けの子育て講演会の記録です。旧来の権威主義的な罰中心の育児が批判され、育児そのものが不在ともいえる状態になりました。その結果、溺愛型と子捨て型の子育てが世界中に蔓延しています。アドラー心理学は賞も罰も副作用が大きいのでお勧めしていません。自分で決断をし自分で責任をとり、みんなのことを考えながら行動する子どもを育てるためには、あたたかく見守るだけでなく、積極的に良い伝統、良い文化、よい価値観を子どもに伝えていかなくてはならないとお話しています。具体的には、①子どもと話し合って合意すること ②子どもに自分で選択してもらうことを提案しています。
混迷の時代の子育て	前半（48分47秒） 後半（51分03秒）	大阪	2004年9月	1000円	近代文化、すなわち物質主義文化が没落しようとしていて、時代は混迷の中にあります。アウシュビッツと広島でその混迷ははじまり、今はアナルコ・キャピタリズム（無政府主義的資本主義）が世界を食いつぶしています。すべてが混迷の中にあります。世界は滅亡に向かっているのかもしれませんが。その中でどのようにして子どもを育てればいいのかについて、危機感を持って語ります。
現代社会と子育て	前半（46分26秒） 後半（55分13秒）	大津	2004年6月	1000円	「社会適応モデル」と「個性育成モデル」を対照しながら、新しい現代社会と子育て育児と教育の理念を語り、そのためにファシズム育児とアナーキズム育児を脱却して、エコロジカルな育児が必要であることを説きます。野田の最新理論が熱っぽく語られています。
新しい時代のしつけ	前半（35分56秒） 後半（38分53秒）	神戸	2004年2月	700円	兵庫県精神保健協会主催、第42回兵庫県精神保険大会での講演。独裁的育児や放任的育児と対比しながら、アドラー心理学が提唱する民主的育児について、平等と尊敬、罰の廃止と話し合いや結末の体験、賞の廃止と勇気づけと感謝、というような話をします。アドラー心理学を学んだことがない人に向かっての講演ですので、いつもの語り口とはいくらか違うと思います。
よい子育て わるい子育て	全体（83分26秒）	高知	2003年11月	800円	高知県でおこなわれた講演。「民主的」という用語が意味不明なので、かわりに「生態学的」という方がよいと言ってみたり、競争のない社会や、自然と共存する社会に向かって子育てをするにはどうすればいいかと言ってみたり、目新しい話がたくさん出てきます。ICレコーダで録音していますので、音質がやや悪くてすみません。
話し合う子育て	前半（42分13秒） 後半（59分24秒）	大阪	2003年9月	1000円	ファシズム育児・2種類のアナーキズム育児・民主的育児を比較対照し、民主的育児の具体的な方法について説明します。初めての人を想定して、基礎的な部分から丁寧に講義しています。
子離れ親離れ	前半（51分35秒） 後半（51分00秒）	大阪	1998年11月	1000円	題名の「子離れ親離れ」の話よりも、現代の家族をとりまく状況についての話や、スマイルからパセージへの進化の話とか、野田の身の周りの雑事とか、さまざまな雑談がおもしろいです。とはいえ、子離れについても、さまざまな示唆にとむ話が盛り込まれています。
子どもとつきあう	前半（60分17秒） 後半（39分36秒）	大阪	1997年2月	1000円	一般的な子育ての話ですが、論理的結末について述べているのがめずらしいです。
無気力な子ども	前半（54分57秒） 後半（49分38秒）	大阪	1996年11月	1000円	ドライカースの「不適切な行動の4つの目標」とアドラーの「活動性水準」の理論をもとに、やる気のない子どもの援助についてわかりやすく話しています。
新しい親子関係	前半（49分42秒） 後半（61分57秒）	大阪	1996年1月	1100円	アドラー心理学にもとづく親子関係について基本的な考え方を説明しています。雑談の多い講演ですが、それはそれでなかなか面白いです。
子どもの自立	前半（43分41秒） 後半（59分20秒）	大阪	1993年4月	1000円	どうすれば自立した子どもを育てることができるかを、たくさんの具体例をあげてわかりやすく話します。前半の最初の部分と、後半のテープの折り返し部が、すこしだけ音声が途切れます。